

“森林レンジャーあきる野”と “森の子コレンジャー”

あきる野市では、郷土の恵みの森を次世代に
つなげようと、「森林レンジャーあきる野」が
活動中です。樹木医やエコインストラクターと
いったそれぞれの専門分野をいかし、野生
動物や巨木の調査、自然体験の場の提供などの活動を行なっています。
また、市内の小中学生による「森の子コレンジャー」は、森林レンジャーと



ともに郷土の恵みの森づくりに
参加しています。

トウキョウサンショウウオ☆ 森っこサンちゃん

あきる野市の総面積の60%は
森林です。スギ、ヒノキの人工林や
コナラの雑木林などのさまざまな
森があり、田んぼや畑といった人の
生活の場と隣接しています。特に、
雑木林と田んぼが隣接した里山



森っこサンちゃん

環境には、数が減少しているトウキョウサンショウウオが
生息しています。あきる野の自然を大切に、貴重な生き
ものを守ることを市民に呼びかけるために、トウキョウ
サンショウウオをモチーフにした「森っこサンちゃん」が
生まれました。

閉校校舎を再利用 小宮ふるさと自然体験学校

2012年3月に閉校した小宮
小学校の校舎を活用し、同年9月
「小宮ふるさと自然体験学校」が
開校しました。この学校では、
小宮地区の豊かな自然環境を
いかした自然体験事業を提供して
います。また、森林レンジャーと
学校スタッフが調査したあきる野の自然を紹介する展示室を設け、市内で
観察できる動植物のパネルや奥山と里山の四季の移ろいを定点撮影
した写真パネルを展示しています。多くの人が集まり、自然を学ぶこの
学校から、あきる野市の森を未来へつなぐ人材が育まれます。

